

コミュニケーションスキル【NLP】

団体選び7つのポイント

初版 平成 17 年 11 月 22 日

改定 平成 18 年 5 月

改定 平成 20 年 4 月

改定 平成 22 年 3 月

最近、類似したレポートが同じような名前で見られています。
発行の目的・内容・意図が全く異なります。

『NLPを学びたいけれど・・・』

『どこの団体を選べばいいのか迷っています』



レポートを読む前に・・・

このレポートの目的は団体選びのサポートです。

あなたが安心してNLPを学べるように作りました。

最近、次のような相談を受けることが多くなりました。

「NLPを学んでみたけれど上手くいかない・・・」

「一緒に学ぶ方たちと肌が合わない感じがする・・・」

「トレーナーと方向性が違っている・・・」

更に、深刻な相談を持ちかけられます。

「NLPは自分には合わないのではないかな？」

「NLPを学んでも役に立たなかった・・・」

その反面、NLPを学んだ多くの方が満足しているのも事実です。

「NLPを学んで良かった！」

「これからも学び続けていきたい！」

「今後は色々なNLPを学んでみたい！」

なぜ、このようなギャップや問題が起こってしまうのでしょうか？

それは、それぞれのNLP団体の方向性が違うからです。

それぞれのトレーナーが『何が価値あり』と感じているかによって、団体によってお手伝いしている内容が違っているようです。

教育・福祉・医療に向いて丁寧に伝えている団体。

経済的な豊かさを追求する団体。

セラピー、コーチングの延長のような団体。

ステータスを追求する団体。

新しい事を良い事とする団体。

経済的豊かさを求める団体。

社会を考えている団体。

自己実現を追求する団体。

様々な団体が存在するようです。

団体によるユニークな方向性は、それぞれのホームページをご覧いただければ確認できると
思います。

「NLPを学んで良かった！」
楽しいNLPと出会うにはコツがあります。
学ぼうとするNLP団体とあなたが同じ目的・方向を向いていることです。

そして、良心的な団体を選びましょう。

このレポートを参考にして頂ければ、あなたは安心して自分の目的・方向にあった団体を選ぶ
ことができるはずです。

様々なNLPトレーナーが、様々な思いを胸にトレーニングをしています。

是非、ご自身に合う団体を選んで下さい。

このレポートは簡単に短時間で読むことができます。

ご自身のペースで目を通して下さい。

ポイント1：良心的な『受講費』。受講費の『表示』をしている団体を選びましょう！

主なNLPの資格取得コースは10日間前後で開催されます。

資格取得コースに参加するには、あなたの大切な時間とお金が投資されます。

そこで、団体によって異なる『受講費』についてお話します。

受講費を確認すれば良心的な団体を見分けることができます。

そうは言っても、団体によって資格取得コースの期間が異なります。

受講費を単純に比較できません。早く学べる事を特徴にして開催期間の短い団体もあれば、じっくり学ぶ事を大切と考えて開催期間の長い団体もあります。

ですから、受講費の総額で団体を判断する事は難しくなりました。そこで、1日当たりの単価を目安にして、良心的な団体を見つける事をお勧めします。

NLPの資格取得コースは個人レッスンではありません。ですから1日当たりの受講単価は30,000円位が妥当と考えられます。

そして、受講費より大切なのが『受講費』の表示です。追加料金が発生しない事を確認して下さい。支払う受講費に消費税、テキスト代、認定証費用が含まれている事を確認して下さい。ホームページなどの受講費の表記には、十分に気をつけてください。

お金を支払った後やコースが始まってから、追加で認定証費用等を払わされるトラブル等には巻き込まれないでください。

必ず、電話やメールで確認して下さい。

私たちが受講費の表示に関わるトラブル防止を訴えて既に5年になります。

今では、受講費に関わるトラブルはかなり減っているようです。

NLPは楽しく学ぶものです。お金のトラブルは避けたいものですね。

ポイント2：どんな参加者がいるの？分野を越えて参加者が集まるから、多くのことに気づき楽しく学び会える。

分野を超えて卓越したコミュニケーション・スキル【NLP】を学ぶ環境は、本当に大切です。

「どの様な参加者と一緒に学べるのか？」は重要なポイントです。

楽しい環境の中であなたの学びを深めることになるのか、それとも嫌な参加者と一緒に学ぶことになるのかで学びに大きく差がついてしまいます。

私たちトレーナー協会のセミナーやワークショップには、分野を越えて様々な方が参加されます。主婦、経営者、管理職、医師、対人援助・社会福祉関連、コーチ、カウンセラー、コンサルタント、人事担当者、等々…。このような幅広い方々の参加により、多くの事に気づき学びを深めることが出来ます。普段は一緒に学べない方と共に学べる環境が、多くの気づきを与えてくれるのです。NLPを学ぶ時は、分野を越えて様々な方が集まってくる団体を選ぶことをお勧めします。

ところが、安心した場に合わない方が参加する場合があります。

私たちトレーナー協会では次のような方の参加をお断りしています。

- ✓ ネットワークビジネスをされている方。（コース中、他の参加者を勧誘する場面があり、ご迷惑をかけた時がありました。参加者が安心して学べる場を提供したいので、私たちトレーナー協会では固くお断りしています。）
- ✓ 心理操作を目的とする方。（心理操作を目的にNLPを使いたい方は、参加をご遠慮下さい。）
- ✓ 相手の利益を考えずに自分の利益ばかりをお考えの方。
- ✓ 時間を守れない方。コース中に知り得た個人情報を使いふらす方。（他の参加者の学びの妨げとなります。参加をご遠慮下さい。）
- ✓ ウツ等の症状で病院の治療を受けている方。病院や専門家の治療を終えてから参加して下さい。
- ✓ 他者の悪口を言う方。誹謗中傷をする方。

安心の学びの場を作るために、ご協力をいただいております。



ポイント3：**要注意！トレーナーの所属を必ず確認して下さい。**

熟練したトレーナーのプロフィールを必ず確認して下さい。

更に、トレーナーの個人プロフィールを確認することをお勧めします。

担当するトレーナーの顔写真・経歴を確認する事は当然ですが、そのトレーナーの NLP トレーニングの実績も必ず確認する事をおすすめ致します。

次に、実践出来るスキルを伝えてくれる団体を選びましょう。NLPは、実践してこそ価値のあるスキルです。ですから、トレーナー自身が実践者である必要があります。「コミュニケーション」、「経営」、「コーチ」、「カウンセリング」、「マーケティング」、「マネジメント」等、それぞれの分野でスペシャリストとして活躍しているトレーナーで、その生のスキルが身に付く団体をお選び下さい。それが、団体の目的や方向性を示しています。

あなたの目的・方向性にあった団体をお選びください。



ポイント4：**団体の長所と短所を確認しましょう。**

人間にも長所と短所があるように、NLPの団体にもそれぞれ長所と短所があるようです。そして、良心的な団体はその長所と短所を明確に教えてくれるものです。

例えば、私たちの団体にも短所があります。私たちは創始者リチャード・バンドラー米国NLP協会に基準に沿ったスキルをお伝えしています。その認定トレーナーの資格は簡単に取得することは出来ません。人気があるトレーナー資格なので、今では国内での選抜試験を合格した者以外はトレーナーになることが出来ないのです。

創始者リチャード・バンドラー米国NLP協会のトレーナー認定は、誰でも取得できる資格ではありません。半面それが長所です。創始者リチャード・バンドラー米国NLP協会の認定トレーナーは、それだけ価値があるとも言えます。

ポイント5：団体の事務所を確認しましょう。

NLPを受講する場合、通常、受講費を先払いします。ですから、信頼出来る団体を選んでいただきたいのです。出来れば団体の事務所は確認して下さい。

実際には事務所が存在しないのに、あたかも事務所が存在しているかのように表示している団体さえあります。

ホームページ等で電話番号を調べて直接電話して確認して下さい。

そして、しっかりと対応をしてくれる団体をお選び下さい。金銭トラブルには絶対に巻き込まれないでください。

キャンセル料金、返金規定なども必ずご確認されることをお勧めします。今はないと信じていますが、過去には「他の団体のセミナーに申込みして、それが開催されずに支払ったお金が戻ってこない！」等というトラブルが報告されました。

繰り返します。事務所は必ずご確認下さい。

ポイント6：学び続けられる団体を選びましょう。

コミュニケーション・スキル【NLP】は、奥が深く、1年や2年学んでも完全に身につくものではありません。例えば、私たちトレーナーはトレーナー資格を取得しても、信頼できる他団体のプラクティショナー・コースで学び、スキルアップ研修を受講する時間を惜しみません。学べば学ぶほど、新しい気づきがあるものです。

また、現在トレーナー協会に所属する全国的に有名なプロコーチは、今でも2人のコーチをつけて学んでいるほどです。あなたがこれからコミュニケーション・スキル【NLP】を本格的に学ぶのであれば、フォローアップのしっかりした団体を選んでください。

意外に重要です。

振替受講が簡単にできますか？

【NLP】は10日間という期間をかけて学びます。

そこで、やむを得ない事情で資格取得コース期間に休む場合が出てきます。

その場合の為に、振替の受講が出来る団体を選んで下さい。仕方がなく一日だけ休んだのに、振替の受講までに半年以上かかるようでは深く学ぶことが難しくなります。振替受講が簡単に出来る団体。もちろん、無料で振替してくれる団体をお選びください。

ポイント7：私たちにお問い合わせが多い質問。

私たちトレーナー協会には、沢山の お問い合わせ があります。その中には「トレーナーになるにはどうしたらいいですか?」「第三世代NLPって何?」「ニューコードNLPは?」という内容が多くなっています。そこで、団体の特徴や最近多い質問に簡単にお答えします。

まず、純粋にNLPを学びたい方。

私たちが所属する米国NLP協会以外の団体も素晴らしい団体ばかりです。私たちトレーナーは、国内外の色々な団体やトレーナーから常に学び続けています。それぞれの団体の特徴、目的、方向性の違いを知っています。ですから、あなたが自分に合った目的・方向性の団体を選ぶことが大切です。

もし、真剣に資格取得コースを考えているのであれば、自分の目で確認する事をお勧めします。自分の目的・方向性にあった団体が分かるはずです。積極的に入門コース、資料請求、電話で問い合わせしてみましょう。自分のフィーリングに合った団体が分かります。

そして、諸事情でご自身が確認できない場合は、是非、私たちにお問い合わせ下さい。

いつでもご相談にのります。無理な勧誘や営業行為は一切行っていません。安心してお問い合わせください。

トレーナーとしての活躍を目指す方へ。

もし、あなたが将来トレーナー資格取得を目指すのであれば、プラクティショナー・コースを受講する段階で『どの系列のNLPトレーナーを目指すのか』を決めて下さい。系列が異なると希望する団体のトレーナー資格を取得できない場合があります。

例えば、私たちも所属している日本で一番多くのトレーナーが所属する創始者リチャー

ド・バンドラー米国NLP協会では、創始者リチャード・バンドラー米国NLP協会のプラクティショナー・コース、マスタープラクティショナー・コースを受講している必要があります。他の系列の団体で資格取得をしても創始者リチャード・バンドラー米国NLP協会のトレーナー資格取得は出来ませんのでご注意ください。

米国NLP協会と似ている団体名があります。名前が似ている団体でNLPの資格を取得しても創始者リチャード・バンドラー米国NLP協会のトレーナーコースは申し込み出来ません。トレーナーコースは受講できませんのでご注意ください。

尚、日本にある主だった団体でトレーナーになるには、それぞれの団体に直接お問い合わせください。それぞれの団体でトレーナーになる要件が異なるようです。

NLPを本格的に学ぶには、お金と時間が必要です。

最終的な判断はご自身の責任でお願いいたします。

直接、それぞれの団体にお問い合わせ下さい。入門コース等があれば体験して下さい。

さて、いかがでしたか？

NLPは分野を超えた卓越性を体系化したものです。体験して初めて分かる事ですが、きっとあなたの想像以上に奥が深いです。そして、楽しいです。

それでは、あなたが楽しく学べる団体にめぐり会えることを心からお祈りしています。

最後にNLPという卓越性を開発された両氏に深く敬意を表します。

共同創立者 リチャード・バンドラー氏。ジョン・グリーンダー氏。

卓越性を体系化してくれた功績に深く感謝します。